

長野大学新棟建設等特定基金 募集要項

目的

新棟建設に伴う学修環境の整備に充当

募集対象

法人、団体、個人 個人1口1万円、法人・団体1口5万円 ※口数・金額に関わらず、有難くお受けいたします。

寄附金額

募集期間

令和6年1月～令和8年3月31日

目標金額

1億円

ご寄附の申込み方法

ご寄附は「銀行振込」あるいは「クレジットカード決済」にて受け付けております。

銀行振込の場合

①お申込み

本学ホームページから「寄附申込書」をダウンロードしていただき、**郵送又はFAX**にてお申込みください。

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

送付先 長野大学 総務・企画グループ 経営・企画・財務担当 宛

FAX. 0268-39-0002

②お振込み

寄附金の受入決定後、振込先が記載された寄附金受入書を送付いたします。お手元に届きましたら、指定の口座にお振込みをお願いいたします。

③領収書等の送付

ご入金の確認から2～3週間程度で、寄附金受領証明書とお礼状を送付いたします。

クレジットカードの場合

クレジットカードによるご寄附のお申込みは、本学が寄附の決済代行を委託している(株)エフレジが提供するF-REGI 寄附支払いサイトでの手続きとなります。本学ホームページより所定サイトにアクセスしていただき、お手続きください。

長野大学 寄附 検索

ホームページ URL

長野大学新棟建設等特定基金
【寄附のお申込み方法】

<https://www.nagano.ac.jp/outline/fund/method/>



顕彰、特典

1 ご芳名の掲載

ご寄附いただいた皆様のご芳名を本学ホームページに掲載させていただきます。(ご芳名の掲載を承諾された方のみ)

2 銘板への刻銘

募集期間中、個人、法人・団体1口以上のご寄附をいただいた方には、新棟内に設置する銘板にご芳名を刻んで永く顕彰させていただきます。(ご芳名の掲載を承諾された方のみ)

3 感謝状贈呈

募集期間中、個人で50万円以上、法人・団体で100万円以上のご寄附をいただいた方には、感謝状を贈呈させていただきます。

4 見学会への招待

新棟完成時に施設の見学会を開催し、ご寄附いただいた皆様を招待いたします。

税制上の優遇措置

寄附者が個人の場合

1. 所得税の控除

所得税法第78条第2項第2号により、その年に支出した寄附金の額(所得の40%が限度)から2千円を引いた額を、所得税の課税所得から控除することができます。(寄附金額-2千円)×所得税率=寄附金控除額

2. 個人住民税の軽減措置

都道府県・市区町村が条例で指定した寄附金については、個人住民税(都道府県及び市区町村住民税)の控除対象となり、総所得金額等の30%を上限とする寄附金額について翌年の個人住民税が控除されます。公立大学法人長野大学新棟建設等特定基金への寄附金は、長野県条例の指定を受けており、個人住民税の税額控除対象となります。上田市以外の市町村住民税については、それぞれの市町村の条例により取り扱いが異なりますので、各市町村の税務担当課へお問い合わせください。

【税額控除の算出方法】

●都道府県が指定している場合 [寄附金額-2千円]×4%に相当する額

●市区町村が指定している場合 [寄附金額-2千円]×6%に相当する額

※都道府県・市区町村の両方が指定している場合は、合計10%が控除されます。

※個人住民税の寄附金税額控除手続きを円滑に行うため、各自治体の要請に応じ、寄附者様の名簿をお住まいの市町村へ提供させていただくこととしておりますので、ご了解のほどお願いいたします。

寄附者が法人の場合

法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます。

優遇措置を受ける手続きについて

確定申告期間に長野大学が発行した「寄附金受領証明書」を添えて税務署に申告してください。住民税のみを受ける場合は各市区町村に申告してください。なお、「寄附金受領証明書」は寄附金の入金確認から2～3週間程度で送付いたします。

お問い合わせ

公立大学法人長野大学経営・企画・財務担当
〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

TEL ● 0268-39-0220
FAX ● 0268-39-0002
E-mail ● kikaku@nagano.ac.jp



公立大学法人
長野大学
NAGANO UNIVERSITY

長野大学新棟建設等特定基金 ご支援のお願い



新校舎のイメージ



NAGANO UNIVERSITY
長野大学新棟建設プロジェクト

新棟のCONCEPT 大学と地域をつなぐ未来創造拠点

1 地域に開かれたキャンパス

共創情報科学部(仮称)が目指す学びの理念を体現しつつ、長野大学の全学生が利用できる中心的な施設を作ります。1・2階には地域に開かれた多目的エリアを整備することで、学生同士や地域社会の多様な人々との活発な交流を促し、未来を創造・デザインする人材を育てる場をつくります。

2 学内交流を促す場

学生が集まり、自ら学び、活発な意見交換を促し、学生の未来を作り豊かな心を育む場として、ラウンジやステッププラザを設けます。学生の交流活動を誘発する居心地の良いキャンパスを整備します。

3 地域連携・産官学連携の拠点

地域住民や企業などの連携拠点となるコラボレーションフロアを整備します。学生が地域の課題解決に取り組む共創の場として、産官学連携による共同プロジェクトを展開するための研究拠点としても利用します。

長野大学新棟建設等特定基金へのご支援のお願い

長野大学は、「地域社会との密接な結びつきにより学問理論の生活化をめざす」という建学の精神のもと、1966年(昭和41年)の創立以来、15,000人を超える卒業生を輩出し、地域社会の発展に貢献してまいりました。

2017年(平成29年)の公立大学法人化を契機に、新たな地域課題や社会ニーズに応えるための理工系学部新設と学部学科再編構想に着手し、2026年(令和8年)4月に、AI時代を見据えた理工系人材を育成する「共創情報科学部(仮称)」と既存学部の再編による「地域経営学部(仮称)」の開設を目指して準備を進めています。

本学は、この構想の実現に向け、キャンパスの新たなシンボルとなる新棟の建設を進めています。この新棟は、理工系学部の教育研究拠点としての機能のほか、全学生が語り合い、学び合いを深める場として、学生食堂やラウンジ、ステッププラザなどの共用スペースを充実します。さらに、産官学連携を推進するコラボレーションスペースを設け、地域社会との交流や連携を深めることで地域に開かれた大学を目指します。

この新棟の建設に伴う事業募金として、2024年(令和6年)1月に「長野大学新棟建設等特定基金」を設立いたしました。この事業を通して大学改革を加速させ、学生や卒業生、地域の皆様が誇りに思える大学を目指し、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公立大学法人長野大学
理事長 平井利博



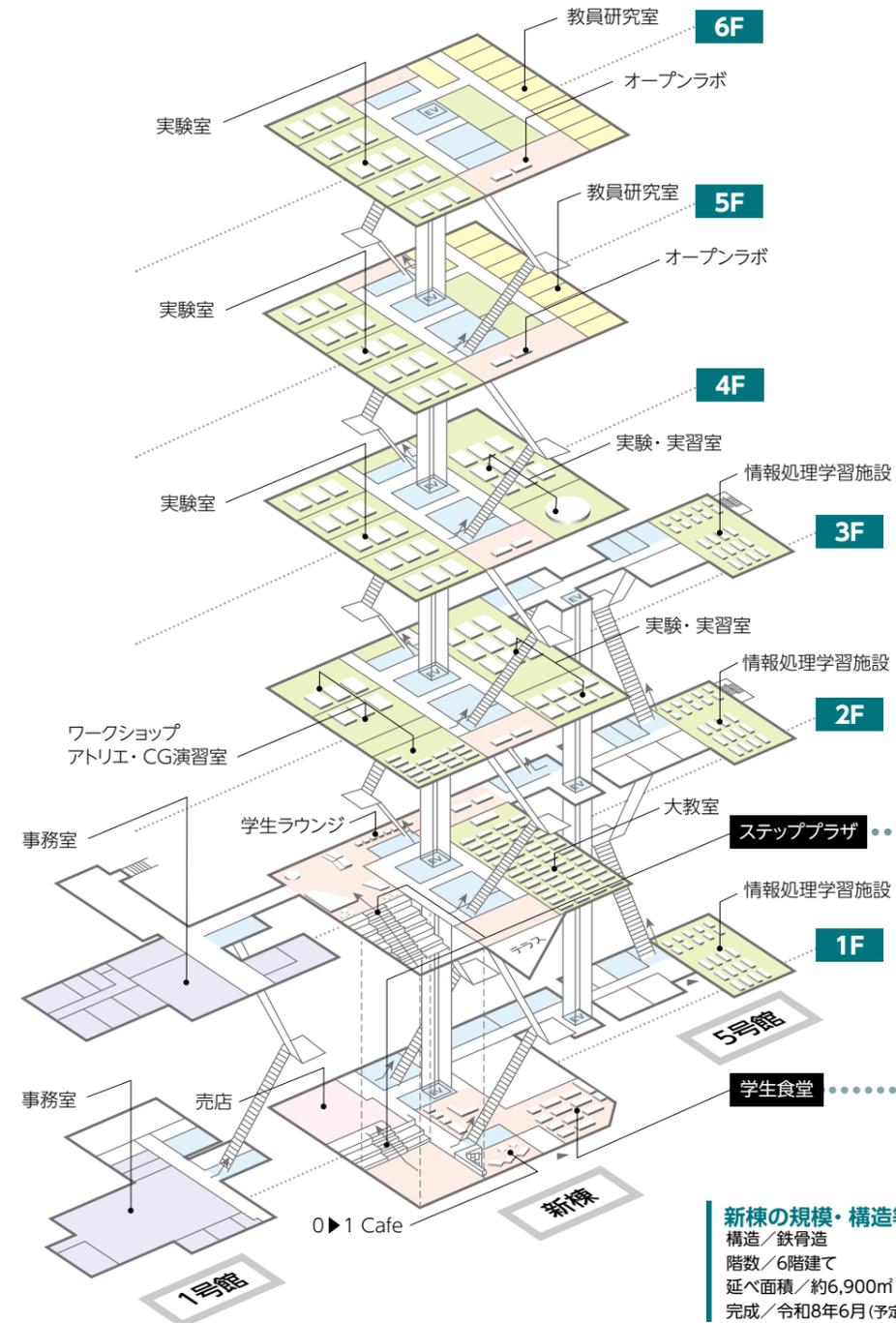
長野大学
学長 小林淳一

NAGANO UNIVERSITY
新学部設置と学部学科再編構想

2026年4月に理工系の新学部「共創情報科学部(仮称)」および既存学部の再編による「地域経営学部(仮称)」を開設予定です。また、同時に大学院「共創情報科学研究科(仮称)」の新設も計画しています。新しい時代に合わせた新学部設置・学部学科再編により、地域社会に貢献できる人材の育成を目指します。



※設置構想中であるため記載内容を変更する可能性があります。



4-6F 研究・実験フロア

研究フロアとして、教室、研究室、実験室や、研究室間の創発を促進するオープンラボなどを整備します。

3F コラボレーションフロア

新学部の専門教育を行う実験室のほか、PBL型教育^{*1}を実践するワークショップ・アトリエやCG演習室を設けます。

2F 学生ラウンジ・大教室

既存校舎とブリッジで繋ぎ、その動線となるエリアに学生ラウンジをオープンし、学生同士の交流を促進します。約250人が講義を受けられる大教室も設けます。

1F ステッププラザ・学生食堂

前面道路に面して開かれた学生食堂と、学内での発表やイベントで利用できる多目的エリア「ステッププラザ」を設け、キャンパスの中心として地域との交流を促進します。

^{*1} PBL型教育: Project Based Learning の略で、課題解決型学習とも呼ばれる。学生自らが課題を見つけて解決していく中で、解決能力や実践能力が育まれる教育法。



ステッププラザは、大学全体の象徴的な空間であり、日常の活動が活発に行われる重要なスペースです。単なる広場ではなく、多機能な交流の場として計画されており、学内での発表やイベントでの活用など、学内外の人々の交流を深める場所として利用される予定です。



学生食堂は、随所に木材を使用することで、温かみのある空間を演出し、学生や教職員、来訪者が自然と集まる温かみのある空間を目指しています。デザインは洗練されつつもリラックスできる雰囲気、学生同士の和やかな交流を促す場所となります。

新棟の規模・構造等
構造/鉄骨造
階数/6階建て
延べ面積/約6,900㎡
完成/令和8年6月(予定)

新棟のイメージ動画を本学 WEBサイトで公開中!

<https://youtu.be/fmQ7o42N2Qk>

